

# おやま駅西口

# MAP

NTT



城山公園

■城山公園 戦国時代まで小山氏の居城だった所で江戸初期には徳川家康の重臣本正純が領主として統治した城跡。(祇園城跡)



政光・寒川尼像

天理教中根教会



■天翁院 小山城主の墓がある小山氏の菩提寺。

小山カトリック教会



■千手観音 子育て安産の仏像として崇められ、毎年一度8月末の土曜日に開扉法要が行われています。



千手観音

群馬銀行



■駅西口 県下第2位の都市、小山市の顔と言える所。新幹線、宇都宮線、水戸線、西毛線が乗り入れ、毎日大勢の人が行き交っています。

駅西口



まちかど美術館



祇園城通

小山市役所

■小山市役所付近 徳川家康が関ヶ原の合戦前、会津へ向かう途中に石田三成の擧兵を聞き、軍議(小山評定)を開いた所と言われる。この故事にちなみ、二代将軍秀忠が建てられるのが小山御殿で、60年間将軍家の日光社参の際の宿泊、休憩所となつた。

小山第一小学校

小山評定跡

保健福祉センター

小山市まちの駅四季彩館

ロブレ632

みずほ銀行

おやま本場結城紬クラフト館

ロブレ

愛宕神社

文化センター



■小山宿脇本陣跡 江戸時代の大名家などの宿泊所、明治天皇の行幸の際の仮の御所として使用されました。

小山宿脇本陣跡

常陽銀行

足利小山信用金庫



常光寺

須賀神社

■須賀神社 神仏分離以前は、牛頭天王社または祇園社と呼ばれていた。平将門を倒した小山氏の先祖藤原秀郷が京都八坂神社(祇園社)からむかえたと伝えられている。国道4号線東の参道北側に建つ所は、江戸末から明治にかけて銅佛(神道無念流)を扱い八幡十郎の牌、投げ上げた天保銭を切り落とすことができたという。

妙建寺



現賢寺

■現賢寺 県の文化指定の絹本著色山越阿弥陀如来因(鎌倉時代の仏画)があります。

須賀神社参道(コミュニティー道路)

■コミュニティー道路 タマみせまろころ、両側に立つ100本の灯ろうにかりかともります。

小山第二小学校



■常光寺 露座仏(阿彌陀如来)の御の跡に關係した大長圭介は、田島府の歩兵奉行で、小山の戦いのあと転戦して函館まで新政府軍と戦った。戊辰戦争の傷跡が残る阿弥陀様が祀られています。



■小山政光は、下野国小山庄(現在の小山市)を治めた、小山氏の祖。寒川尼はその妻で鎌倉幕府将軍、源頼朝の乳母。源平合戦の際、京で大番役の任にあり不在だった夫に代わり、妻が頼朝への助力を決意し、合戦の勝利と鎌倉幕府樹立という開運をもたらした。その功により、寒川尼は女性ながら地頭に任ぜられた。現在、二人の面影は石像として思川のほとりにあり、小山市の平安を見守っている。